

評価項目	自己評価				学校関係者評価	
	主な成果・課題	前期	後期	改善の方策		
学校経営	個性の伸長と進路実現を目指した教育活動の推進に努めているか。	○インターンシップや各種講話、ボランティア活動に加え、ステップアップ・プログラムに取り組み個性の伸長に一定の成果を挙げることができた。 ●体験的な学習を一層充実させる必要がある。	2.9	3.0	・研究指定等各種取組の成果の詳細な検証と充実に向けた取組の推進 ・新たな研究指定等の活用	・概ね達成できているとの評価であった。 ・多様な生徒に対応した教育プログラムをより一層充実させる必要がある。
	経営参画意識の高揚による組織の活性化と実践力の向上に努めていると思うか。	○研究指定や修学旅行など学校課題に対応した新たな委員会の設置により、組織力の向上及び業務の効率化を図ることができた。 ●学校経営方針の一層の周知徹底を図り、教職員が一体となった教育活動を推進する必要がある。	2.7	2.6	・時代の変化や学校課題に対応した分掌の再編及び必要な委員会の設置など、組織力を生かす改善の継続 ・学校経営方針の周知及び理解の促進を図るための方法の工夫	・概ね達成できているとの評価であった。 ・間口減に伴い教職員数も減少することから、組織等のあり方を常に見直し、効率的に学校運営を進めていく必要がある。
	学校課題解決のための組織的・計画的な研修・研鑽を行っているか。	○職員研修について学校評価委員会で調整を図り、計画的な実施に努めた。(実施回数：5回) ●全体研修の充実はもとより、多様化した学校課題に対応するため、学年・分掌で話し合う場をできる限り確保する必要がある。	2.7	2.8	・緊急性の高い学校課題への迅速な対応 ・学校評価委員会と各学年・分掌との一層の連携による組織的な研修の実施	・概ね達成できているとの評価であった。 ・全体研修のみならず、様々な形態、方法を工夫するなど効果的な研修を一層推進し、生徒に還元していただきたい。
	保護者や地域の理解・協力のもと、開かれた教育活動に努めていると思うか。	○PTA役員会・総会、HP(9更新)、PTA便り(献納)の発行などにより定期的な情報発信に努めた。 ○全保護者に対する学校評価アンケートを実施し、学校に対する意見や要望の把握に努めた。 ○地域清掃や介護施設訪問、地域行事運営など地域と連携したボランティア活動の充実に努めた。 ●HP更新の周知や地域住民に対する情報提供など効果的な情報発信の方法を工夫する必要がある。	2.7	2.8	・HP更新の周知方法の工夫 ・PTA便りや伊達高トピックスの地域住民への配布や市内各所(県庁、小館)への配置 ・保護者や地域住民に対する教育活動の公開の推進 ・地域や関係機関と連携したボランティア活動の一層の充実 ・小・中・高連携協議会の一層の活用	・概ね達成できているとの評価であった。 ・HPを見てもらうのを待つだけではなく、HPの内容をプリントし地域に配布するなど効果的な情報発信の方法を工夫する必要がある。
学習指導	生徒の自己実現を達成できる教育課程の編成や実践を行っていると思うか。	○基礎・基本の確実な定着と法令に沿った適切な実施を図るため教育課程の見直しを行った。 ●新学習指導要領の趣旨を生かした教育課程の編成と適正な実施が課題である。	2.8	2.9	・生徒の実態や地域・保護者の要望などの的確な把握と育成したい生徒像の明確化 ・各教科における新学習指導要領の趣旨の理解の徹底と十分な検討	・概ね達成できているとの評価であった。 ・「生徒の実態に適合した」、及び「進路目標の実現」の双方を踏まえた教育課程の編成に努めて欲しいとの意見があった。
	基礎・基本を重視し、生徒の学力の向上に努めていると思うか。	○英語・数学での少人数指導は多様な学力層に対応する上で一定の成果を挙げている。 ●全ての教科において、多様な学力層の生徒に対応する指導を一層充実させる必要がある。	3.0	3.2	・「公開授業」など教科指導に関する校内研修の充実 ・教科担任会議や学年会での教科指導に関する課題の共有化	・概ね達成できているとの評価であった。 ・常に学び続けることの重要性を生徒に理解させることが重要であるとの意見があった。
	学習環境の整備(バル席など)と自主的・意欲的な学習態度の育成を図っていると思うか。	○学習規律点検週間の実施方法を見直し生徒の意識の高揚はもとより指導に役立てるよう工夫した。 ●全ての教科において家庭学習習慣の育成を図る指導の工夫が必要である。	2.8	2.9	・授業規律に関する指導の教員の共通理解・共通実践の確認 ・週末課題や宿題など家庭学習を促進する組織的な取組の実施	・概ね達成できているとの評価であった。 ・家庭学習を促す教科ごとの取組はすでに行われているが、さらに発展させ、学年・全校へと広げて欲しいとの意見があった。
	授業改善(公開授業・教育課程委員会・教代会など)に努めていると思うか。	○公開授業について小・中学校や学校評議員など外部の方々の参加を得て実施し、好評を得るとともに、授業改善に一定の成果をあげた。 ●実施教科の拡大と内容の充実が課題である。	2.8	2.9	・公開教科数の増加や協議会実施方法の工夫など内容の充実 ・保護者や小・中学校関係者など外部の方々の参加を促す周知方法の工夫	・概ね達成できているとの評価であった。 ・授業公開を一層推進し、地域の学校に対する理解を深め、生徒に「見られている」という意識を持たせることが重要である。
	生徒の読書環境の整備に努め、読書活動の充実に努めていると思うか。	○図書館報の発行や図書室特集コーナー設置など図書局と連携し読書活動の推進に努めた。 ●読書習慣が身に付いていない生徒が多く、組織的・継続的な啓蒙活動が今後の課題である。	2.4	2.2	・朝読書の導入 ・司書教諭と連携した学級文庫の設置 ・図書館報の発行の充実と定期的発行など組織的・継続的な啓蒙活動の推進	・妥当な自己評価である。 ・自己を分析し、表現するためにも読書は重要であり、本に親しむ環境整備を一層図っていただきたいとの意見があった。
生徒指導	教員の共通理解の下、生徒の規範意識や規律ある生活習慣の育成を図っていると思うか。	○校門・玄関指導等の継続により生活習慣の育成に一定の成果がみられた。 ●多様な生徒に対応したアプローチの仕方の工夫など規範意識育成指導の一層の充実が課題である。	2.6	2.8	・規範意識育成に関する教員の共通理解の促進 ・校門・生徒玄関における生徒による呼びかけ等、基本的な生活習慣の確立に向けた生徒会活動の推進	・自己評価以上に達成できているとの評価であった。 ・通学の様子も良くなっており、今後も共通理解に基づく指導を継続して欲しい。
	生徒指導の充実に向け、家庭や地域、関係機関との連携・協力が十分に図られていると思うか。	○「携帯電話マナー講座」や「交通安全」、「性の講話」など外部講師を招いての啓発活動に努めた。 ○長期休業前等に生活全般の注意を喚起するプリントを配布するなど家庭との連携に努めた。	2.7	2.8	・日常的な電話連絡等家庭・関係機関との連携を深める指導の継続と一層の推進 ・六校交流会の充実など地域小・中学校との意見・情報交換の推進と一貫指導体制の確立	・概ね達成できているとの評価であった。 ・地域の力をこれまで以上に活用していくことを地域も望んでいる。
	教育相談や面談などを通して生徒理解の深化を図るとともに、好ましい人間関係を基盤とした細やかな指導により、中途退学やいじめの防止に努めていると思うか。	○教育相談室の設置やスクールカウンセラーの定期派遣など教育相談体制の整備に努めた。 ○ステップアップ・プログラム(個別カウンセリング、アセスメント)により好ましい人間関係の育成に努めた。 ○個人面談や「いじめ」に関するアンケートによりいじめの防止に努めた。 ●教育相談体制の一層の充実を図る必要がある。	2.8	3.0	・スクールカウンセラーの継続配置と連携の一層の推進 ・教育相談の積極的な活用を促す広報の推進 ・ステップアップ・プログラムの組織的・継続的な取組の推進と充実方策の検討	・概ね達成できているとの評価であった。 ・コミュニケーションが上手くとれない若者が増えていく中、カウンセラーとの協力や、アセス、ピア・サポートのような取組はますます重要になる。
	生徒会活動やホームルーム活動の活性化を図り、生徒の自発性・自主性の育成に努めていると思うか。	○生徒会執行部を中心に生徒の活動を促し、学校祭をはじめとする各種行事の充実に努めた。 ●生徒の自主的な活動の育成に関しては不十分な面があり、一層の工夫が必要である。 ●生徒・教員数の減少による今後の部活動の在り方について検討する必要がある。	2.6	2.7	・リーダー研修会の内容の見直し等による生徒の自治能力の醸成 ・局・部活動再編の検討	・概ね達成できているとの評価であった。 ・部活動についても、より一層活発に活動して欲しいとの意見があった。
進路指導	計画的・組織的な進路指導により、生徒の進路意識の高揚と主体的に進路を選択する能力の育成に努めていると思うか。	○進路シラバスや「進路のしおり」を活用した進路学習や2年生全員に対する作文模試の複数回実施などにより進路意識高揚に一定の成果があった。 ○外部講師による進路別ガイダンスやインターンシップなどにより進路意識の啓蒙を図った。	2.8	2.8	・進路状況の詳細な分析と活用 ・社会の需要に適合した人物を育成する進路指導の充実 ・進路希望実現までのプロセスを早期に理解させ積極的に取り組ませる指導の推進	・概ね達成できているとの評価であった。 ・作文模試は良い取組であり、これを土台に、作文指導の充実を期待するとの意見があった。
	学年・教科・分掌と連携を強化しながら、個々の進路希望に応じた指導の充実に努めていると思うか。	○進路希望調査や進路別ガイダンス、面接練習や企業見学など各学年に対応した進路指導に努めた。 ●センター試験や一般受験のデータ不足もあり、進路情報の収集に課題があった。	2.9	2.8	・企業訪問の実施(対象や適切な時期の検討) ・各教科における受験体制の確立(センター試験や看護希望者のためのデータ収集や受験対策など)	・概ね達成できているとの評価であった。 ・企業では意欲を重視するので、進路別ガイダンスや企業見学などを一層充実し生徒に刺激を与えて欲しいとの意見があった。
	進路決定に向けて、生徒や保護者の理解や協力を得られるように情報を提供していると思うか。	○地区別懇談会や進路説明会、3年生三者懇談会などにより保護者との意思疎通を積極的に図った。 ○懇談会の実施方法を含め、進路情報の発信の仕方をさらに工夫する必要がある。	2.8	2.9	・より効果的な保護者懇談会の実施方法の工夫 ・プリントやHPを活用した進路情報の発信 ・進路情報をわかりやすく、迅速に提供する方法の工夫	・概ね達成できているとの評価であった。 ・懇談の機会をできるだけ多く確保し、担任と保護者の意思の疎通を積極的に図る必要がある。
健康・安全指導	豊かな心や生命を尊重する態度の育成に努めていると思うか。	○「いじめ」に関するアンケートを実施し、いじめ防止の啓発等一連の指導を行い、効果をあげた。 ○性教育について、講話やビデオ学習で正しい知識の普及に努め一定の成果があった。	2.7	2.9	・アンケートの継続や個人面談の実施など「いじめ」防止に関する指導の継続と徹底 ・学校教育活動全体を通じた性に関する指導の一層の充実	・概ね達成できているとの評価であった。 ・いじめに対しては「ない」という前提ではなく、「あるかもしれない」という前提で今後も気を配って欲しいとの意見があった。
	生徒が健康で安全な生活を送るための自己管理意識の啓蒙を図っていると思うか。	○学校教育活動全体を通して健康安全指導を推進し生徒の実践力の育成に成果をあげた。 ●インフルエンザ等感染症の流行により生徒の健康管理に対する関心は高まってきており、自ら健康を守る意識の啓蒙を一層推進する必要がある。	2.7	3.0	・学校保健計画・安全計画の職員への周知徹底 ・関係機関との適切な連携による感染症対策の推進 ・生徒・保護者への適切な情報の提供	・概ね達成できているとの評価であった。 ・ドラッグの危険性については、今後とも継続して啓発していく必要がある。
	関係機関との連携・協力を得て、健康・安全指導の充実に努めていると思うか。	○警察・医療機関と十分に連携・協力しながら健康安全指導の充実に努めた。 ●自転車通学時の交通マナーに課題があり、交通安全指導の一層の充実が課題である。	2.9	2.9	・関係機関との連携・協力の一層の推進 ・交通安全に関する意識を高める効果的な指導の実施	・概ね達成できているとの評価であった。 ・自転車マナーも以前より良くなってきており、より一層の指導をお願いしたいという意見があった。
	運動の大切さを理解させ、生涯を通じて運動に親しむ態度の育成を図っていると思うか。	○教科及び特別活動(部活動、球技大会)と、さらには運動部活動など教育活動全体を通して体力向上と運動に親しむ態度の育成に努め効果が見られた。 ●学校教育活動全体を通じた組織的・効果的な取組の一層の推進が課題である。	2.7	2.8	・生徒の体力維持向上を図る取組の一層の工夫 ・教科と特別活動との連携した取組の検討 ・運動部活動の充実と加入者増加に向けた対策の検討	・概ね達成できているとの評価であった。 ・部活動への加入促進を強力に推し進めて欲しいとの意見があった。